



報道関係者各位

2017年8月17日

**220を超える出展者と2万を優に超える来場者を集めた
第2回「オーガニックライフスタイル EXPO」、大盛況のうちに閉幕**

2017年7月29日(土)30日(日)、一般社団法人オーガニックフォーラムジャパンが主催し、一般社団法人フードトラストプロジェクト、ロハスワールド、GON(グローバルオーガニックネットワーク)が共催した第2回『オーガニックライフスタイル EXPO』は、「オーガニック 3.0を推進する 持続可能な開発目標 SDGsの実現に向けて」をテーマに、東京・有楽町の東京国際フォーラム地下2階の展示ホールEで開催され、成功裏に閉幕いたしました。

本年は、展示会開催の前日28日(金)に専門セミナーや展示会内覧・商談会を含めた『オーガニックフォーラムシンポジウム/オーガニックバイヤーズミーティング』も初めて催行いたしました。お陰様で両イベントともに数多くの業界関係者、一般消費者にお集まりいただき、今年開催される同テーマの展示会の中では、名実ともに最大規模の催しとなるものと思われます。登録来場者数は次の通りです：

来場登録者総数

7月28日(金)	曇	694名	バイヤーズミーティング+商談会+シンポジウム
7月29日(土)	曇/雨	11,787名	展示会+セミナー
7月30日(日)	曇	10,511名	展示会+セミナー
合計		22,992名	

開催全体規模

出展社:224社・団体・生産者

小間数:246

詳しい分析は終了報告書に委ねますが、閉会直後のデータによる出展者の大まかな割合は食品 56%、



コスメ13%、繊維製品やアロマなどが8%、その他の生活雑貨14%、それ以外が9%でした。来場者は、インターネットによる事前登録、招待券による来場ならびに当日券による来場全体が押しなべて、概ね一般消費者が70%強、ビジネス来場者が30%弱の割合で、30日の日曜日であってもビジネスの来場者がほぼ同じ割合でご来場くださったようで、出展者にとってはビジネス的にも満足との声が聞かれました。

■ 初めての試みオーガニックバイヤーズミーティング+内覧・商談会

展示会前日28日のバイヤーズミーティングは、10:30から2020年のオリ・パラフードビジョンやオーガニック先進国アメリカに学ぶ販促戦略、売れる有機農産物の売り場づくり、エシカルコスメの知識と売り場づくり、フェアトレードなどSDGs向け商品開発構想など、実践的なビジネスセミナーが催行されました。そして、参加者は夕方6時から展示会会場での2時間の内覧・商談会へと誘われました。

内覧・商談会のためには、事前に、出展者には参加予定の300名を超えるバイヤーリストが、一方、参加バイヤーには出展者並びに出展品を掲載したバイヤーズガイドが提示されました。初めての試みでしたが、内覧・商談会に臨んだ出展者からは期待以上だったとの声も多く聞かれ、早くも、来年も同じような催しをとの要望も届いています。

■ 土日開催でもビジネスと一般、双方にとって価値ある展示会

『オーガニックライフスタイル EXPO』はアクセスの良い東京国際フォーラムでの開催により、ビジネス・一般ともに対象とするB2B2Cの展示会として構想されました。今年は会期が土日ではありましたが、とくに29日(土)にはレストランや小売りなどのビジネス関係者が多く来場し、あちこちで商談風景が展開されました。翌日30日(日)には、子育て真っ最中のご家族など、本当にオーガニック製品を入手したいと願う消費者が数多く来場され、出展者に熱心に質問したり、話を聞き、情報を集めて、最後には商品を購入されるケースが多かったようです。

今年も、EXPOのテーマ「オーガニック3.0」や「SDGs」に関するセミナーを皮切りに、国際的なビジネスセミナーやオーガニックを次代に繋ぐ発表会、消費者にぜひ知ってほしい内容豊富なセミナーやワークショップ、オーガニックコットンTシャツや子供の絵の展示など、来場者を飽きさせない内容の展示会となりました。

また、200を超える出展者のこだわりの製品も、有機野菜・食品からコスメ、繊維製品、エシカルアクセサリ、食器や洗剤などの日用雑貨、無添加住宅や自然に優しいお葬式まで、バラエティーに富み、一つ



一つが見逃せないものばかりで、まさに「オーガニックライフスタイル」のための珠玉の品々が広範に紹介されたといえる展示会でした。

出展者は、こんなにも多くの一般消費者がどのような商品に引きつけられるかを目の当たりにすることで、新たな商品開発への意欲に火がつけられたことでしょう。

次回、第3回「オーガニックライフスタイル EXPO」は、2018年9月22日(土)・23日(日)に、今回と同じく東京国際フォーラムの展示ホールEの全体を使用して開催されます。

今回は、前回2016年11月から8カ月めでの開催で、想定した企画や手順をこなさきれない一面がありました。次回は開催まで1年以上ありますので、しっかり準備して催行するつもりです。引き続き、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【展示会概要】

名 称: 第2回 Organic Forum Japan～オーガニックライフスタイル EXPO ～Summer

会 期: 2017年7月28日(金)、29日(土)、30日(日)

■ 28日(金)オーガニックバイヤーズミーティング/ガラス棟

(入場料 3,000円(税込)/ 業界関係者 ※ 招待状持参無料)

■ 28日(金)オーガニックフォーラムシンポジウム(仮称)/ D7ホール

(入場料 1,000円(税込)/ 業界関係者一般 ※ 招待状持参 / 事前登録無料)

■ 29日(土)・30日(日)EXPO 展示販売商談会 時間 10:00～17:00 展示ホールE

(入場料 1,000円(税込)/ 業界関係者・一般 ※ 招待状持参 / 事前登録無料)

後 援: 農林水産省、木更津市(予定)

特別協賛: (株)ローソン、らでいっしゅぼーや(株)、Radix の会、農林中央金庫、イーサポートリンク(株)、

SHARE THE LOVE for JAPAN、(株)アバンティ、パタゴニア日本支社、東都生活協同組合、

(株)大地を守る会、(株)花ごころ、安心農業(株)

協 賛: IFOAM JAPAN、NPO 法人オーガニック協会、NPO 法人オーガニック事業協会、

一般社団法人エシカル協会、一般社団法人エシカルビューティ協会、

農事組合法人さんぶ野菜ネットワーク、一般社団法人 SEEDS OF LIFE、

一般社団法人 日本オーガニックコスメ協会、特定非営利活動法人 日本オーガニックコットン協会、



特定非営利活動法人 日本オーガニックコットン流通機構、特定非営利活動法人 日本有機農業研究会、
NPO 法人 有機農業参入促進協議会、次代の農と食を創る会、(株)アフアス認証センター、
オーガニック・テキスタイル世界基準(GOTS)、(株)Control Union Japan、
日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会(JONA)、(有)リーファース、
オーガニック・エコ農と食のネットワーク(NOAF)、有機農業の日委員会、
(株)ロハスインターナショナル、(株)オーガニッククルー、一般財団法人 日本 GAP 協会、
一般社団法人ハラル・ジャパン協会、一般社団法人 日本オーガニック検査員協会、正食協会、
NPO 法人 生物多様性農業支援センター、一般社団法人 日本農林規格協会、
一般社団法人 日本ガーデンセラピー協会、NPO 法人 全国有機農業推進協議会、
特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン、(株)エクステリア風雅舎、
学校法人恵泉女子学園大学、Mom's Lab、ハイシークリエーション、(株)Woo-By.Style、
一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会

協 力: オーガニック生活便(株)アイシス、ORGANIC PRESS、ORGANIC VISION
(一般社団法人オーガニックヴィレッジジャパン(OVJ))、月刊クーヨン(株)クレヨンハウス)、
GON(グローバルオーガニックネットワーク)、grassroots(CREAM INC)、
Japan Today/Savvy Tokyo(株)ジープラスメディア)、自然と農業(木香書房)、
ダイヤモンド・チェンストア(株)ダイヤモンド・リテイルメディア)、
ベジタリアンマガジン veggy(キラジェンヌ株)、野菜だより(株)学研プラス)、EARTH JOURNAL
(株)アクセスインターナショナル)、ヘルスライフビジネス(株)ヘルスビジネスマガジン社)、
農業ビジネスマガジン(イカロス出版(株))、Fragments((株)Will Be There)、
えつらく(株)新選堂)、beaute d' Or(Myuty-Chic株)、aromatopia(フレグランスジャーナル社)、
うかたま((一社)農山漁村文化協会)、DIME(小学館)、オルタナ(株)オルタナ)、セラピスト
(株)BAB ジャパン)、日本食糧新聞(株)日本食糧新聞社)、
(有)リポーン(エコツーリズム・ネットワーク)

同時開催: 第2回キッズアワード「ぼくとわたしの食べ物の絵コンテスト」、チェアヨガ、基調講演シンポジウム・
各種セミナーワークショップ、各種専門&認証講座他シンポジウム・各種セミナーワークショップ他

【主催者概要】

組織名: 一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン

会長 徳江 倫明

代表理事 秋元 一宏



所在地:東京都中央区八丁堀 2 丁目 22 番 8 号 7F(一社)FTP 内

TEL:03-3523-0028 FAX:03-3523-0861

E-Mail:info@ofj.or.jp

公式 URL:<https://ofj.or.jp>

【参考】

オーガニック 3.0/IFOAM(国際有機農業運動連盟)

1970 年代、有機農業の先駆者たちが動き始めた「オーガニック 1.0」から 1990 年以降、グローバルな規格・基準、認証制度の普及による有機市場の規模拡大を目指した「オーガニック 2.0」を経て、「オーガニック 3.0」は次の時代を見据えて、「2.0」で取りこぼしてきたものは何かを掘り上げ、オーガニック認証を取得した一定規模以上の農家だけでなく、中山間地の小規模農家、消費者に直接つながる提携やローカルを足場にする家族経営農家、さらには有機農業の枠を超えて貧困や飢餓、天然資源の枯渇、地球温暖化や生物多様性の保全といった環境・持続可能性までを、オーガニックに携わる者共通の目標とするもの。

これはサブテーマの SDGsにつながる。

SDGs (Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)/国連

2030 年に向け、持続可能な社会を実現するための開発目標で、世界中で取り組みが始まっている。「誰も置き去りにしない」と宣言された「2030 アジェンダ」には、地球規模の優先課題として下記の 17 目標が挙げられている:

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等の実現
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も



- 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられる街づくり
- 12 作る責任、使う責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさをももろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう